

# 中学地理プリント（過去問類似）

## 中国・四国地方

名前

得点

/9

**問1** 日本の都道府県別の統計において、レモンの収穫量が全国の約6割にあたる61.7%（2016年）を占め、日本一の産地となっている都道府県はどこですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 広島県                      2. 愛媛県                      3. 岡山県                      4. 山口県

**問2** 2021年の統計において、みかんの収穫量が全国第2位（約12.78万t）であり、四国地方に位置する愛媛県の県庁所在地として正しい名称を選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 高松市                      2. 高知市                      3. 松山市                      4. 徳島市

**問3** 高知県の平野部などで盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の生育期間を短縮し、本来の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何というか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 促成栽培                      2. 抑制栽培                      3. 近郊農業                      4. 二毛作

**問4** ある地域の地形図を確認すると、耕作地の周辺に「角田池」といった名称の池がいくつも点在している様子が見て取れます。このように、特定の地域で多くの池が人工的に設置されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 年間降水量が少なく、安定した農業用水を確保するため      2. 冬の積雪が多く、その雪解け水を一時的に貯めるため      3. 台風による水害を防ぐため、河川からあふれた水を貯めるため      4. 養殖業を盛んにするために、海水を貯める場所が必要だったため

**問5** 山口県の工業と地理的条件の関係について述べた文として、統計的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。（2021年 山口公立入試 類似）

1. 1,500kmを超える長い海岸線沿いに大規模な工場が立地しており、化学工業を中心に製造品出荷額が極めて大きくなっている。      2. 広大な平野部を利用した果実栽培が盛んであり、農業産出額が製造品出荷額を大きく上回っている。      3. 鉄鋼業が産業の軸となっており、化学工業の製造品出荷額は県全体の1割に満たない。      4. 海岸線が短く港湾の整備が困難なため、内陸部での精密機械工業が製造品出荷額の大部分を占めている。

**問6** 高松市などの瀬戸内沿岸地域において、年間を通じて降水量が少なくなる主な要因として、地形と風の関係から説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれ冬と夏の季節風による湿った空気を遮るため。      2. 一年中安定して吹く偏西風が、中国山地と四国山地の間を通り抜ける際に乾燥するため。      3. 梅雨の時期に停滞する前線の影響を、四国山地が防ぐことで雨雲が発達しにくい。      4. 黒潮などの暖流の影響により、季節風が吹き込む際に雲が消滅しやすい地形だから。

**問7** 九州地方の宮崎平野など、冬の温暖な気候を背景にビニールハウスなどの施設を用いて作物の成長を早め、出荷時期をずらす栽培方法の名称として、最も適切なものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 促成栽培                      2. 抑制栽培                      3. 近郊農業                      4. 二毛作

**問8** 中国地方と四国地方の各県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県は全部で3つあります。その県名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 島根県、愛媛県、香川県      2. 島根県、徳島県、香川県      3. 山口県、愛媛県、高知県      4. 鳥取県、島根県、山口県

**問9** 高知県では、沖合を流れる黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いてナスなどの野菜を栽培しています。このように、他の産地と出荷時期をずらし、通常の収穫期よりも早く栽培して出荷する農業の方法を何といいますか。（2017年 徳島公立入試 類似）

1. 促成栽培                      2. 抑制栽培                      3. 二毛作                      4. 有機農業

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1 広島県</b>	瀬戸内海の温暖で降水量が少ない気候は、柑橘類の栽培に適しています。特に広島県はレモンの生産において圧倒的なシェアを誇っており、全国の半分以上の収穫量を占める日本一の産地です。問題文にある「収穫量6割以上」という数字は、広島県を特定する大きな指標となります。
問2	<b>答え 3 松山市</b>	愛媛県はみかんの栽培が非常に盛んな地域として知られており、2021年の統計では全国1位の和歌山県に次ぐ第2位の収穫量を記録しています。四国地方の各県の県庁所在地は、香川県が高松市、高知県が高知市、徳島県が徳島市、そして愛媛県が松山市です。愛媛県の松山市は、瀬戸内海に面した気候を活かした果樹栽培が特徴です。
問3	<b>答え 1 促成栽培</b>	温暖な気候を活かし、ビニールハウス等で温度を管理して出荷時期を早める方法です。高知平野のナスやピーマン、宮崎平野のキュウリなどが代表例です。これに対し、高冷地の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問4	<b>答え 1 年間降水量が少なく、安定した農業用水を確保するため</b>	瀬戸内地方のような降水量の少ない地域では、川から引ける水の量に限りがあるため、人工的な貯水施設である「ため池」を築いて農業用水を管理してきました。地形図上で多数の小さな池が描かれているのは、こうした気候的制約を克服しようとした地域の歴史的背景を反映しています。
問5	<b>答え 1 1,500kmを超える長い海岸線沿いに大規模な工場が立地しており、化学工業を中心に製造品出荷額が極めて大きくなっている。</b>	山口県は長い海岸線を活かして大規模な臨海型の工業用地が整備されており、製造品出荷額は約6兆円に達します。特に化学工業が盛んで、その出荷額は約1.8兆円と、県の工業を牽引する存在になっています。選択肢にあるような「農業産出額が製造品出荷額を上回る」事実はなく、また主要産業は鉄鋼業ではなく化学工業です。
問6	<b>答え 1 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれ冬と夏の季節風による湿った空気を遮るため。</b>	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しています。夏は太平洋側からの湿った季節風が四国山地に遮られ、冬は日本海側からの湿った季節風が中国山地に遮られます。それぞれの山地で雨や雪を降らせた後の乾燥した空気が瀬戸内側に流れ込むため、年間を通じて降水量が少なくなります。
問7	<b>答え 1 促成栽培</b>	温暖な気候や施設を利用して作物の成長を促進し、本来の収穫時期よりも早める方法を促成栽培といいます。これに対し、高冷地などの涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は「抑制栽培」、大都市の消費地に近い場所で行われる農業は「近郊農業」と呼ばれ、それぞれ区別されます。
問8	<b>答え 1 島根県、愛媛県、香川県</b>	中国・四国地方にある9県のうち、県名と県庁所在地名が異なるのは、島根県（松江市）、愛媛県（松山市）、香川県（高松市）の3県のみです。鳥取県、山口県、徳島県、高知県などは、県名と県庁所在地名が同一であるため、知識の整理が必要です。
問9	<b>答え 1 促成栽培</b>	高知県は冬でも温暖な気候に恵まれているため、その特性を活かして野菜の成長を早める栽培が盛んです。この方法は、他の産地が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。これに対し、長野県などの高冷地で夏でも涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。